

# 志木ロータリークラブ

2022-23年度 国際ロータリー 会長 ジェニファー・ジョーンズ「イマジン ロータリー」  
2021-22年度 第2570地区 ガバナー 村田貴紀「地域と世界でつながる力を磨き奉仕を实践しよう」  
2021-22年度 志木ロータリークラブ 会長 小林八郎「新たな一歩」

## 第2345回 例会

2022-8-10

- ◎司会 三上 隆俊 副会長
- ◎点鐘 小林 八郎 会長
- ◎ソング 我等の生業
- ◎ソングリーダー 宮原 俊介 副SAA
- ◎四つのテスト 宮原 俊介 副SAA

### 「会長挨拶」

会長 小林八郎



先日の7月27日のガバナー補佐訪問及び8月3日のガバナー公式訪問では、皆様のご協力をいただき、無事終了することができました。ありがとうございました。自分自身もほっとしているところです。

ところで先週から東北、北陸でゲリラ豪雨が発生し、甚大な被害をもたらせています。また、全国各地の酷暑は、私たち日本だけではなく、ヨーロッパでも高温、山火事などが発生し、世界レベルで地球環境の問題が浮き彫りになりつつあります。

先般、会長アワーの時にお話ししました一般社団法人市民社会ネットワーク理事で事務局局長の新田恵理子さんの言葉が思い出されます。「SDGsがなぜ今必要なのか再認識せざるを得ない」と言っています。その再認識せざる

を得ないことは何か？といたしますと、このままでは、日本、世界、地球までが持続不可能だということです。2015年に国連はSDGsを訴えたアジェンダの50節に『我々は地球を救う最後の世代になるかもしれない』と記されていることに驚いたところです。これからの地球環境に対して、真剣に考える時期に来ているのではないのでしょうか。そのために、未来に向けてまずは自分の身の回りから考え、行動することが大事なのではないのでしょうか。

ところで、自然環境にとって緑や木々は欠かせないものですが、東京海上は、東京・丸の内まで建て替える新本店ビルについて、地下3階・地上20階建て、高さが約100mの日本で最大の木造ビルを建築すると報道されました。柱や床に耐火性の高い国産木材をふんだんに使い、環境に配慮し、一般的なビルに比べて、二酸化炭素の排出量を3割程度減らせるといいます。2024年に着工し、完成は2028年度を目指すようですが、林業が衰退する中で、戦後に植林された国産材が利用期を迎えるので、林業の再生も期待しているそうです。

さて、木造といえば、東京オリンピック2020開催のために建築された国立競技場があります。国立競技場を設計した隈研吾氏は、『コロナ後の都市と建築』という本の中で、日本人固有の日本庭園の距離感や繊細さを賞賛した上で、国立競技場は予算の関係で屋根をかけずに、伝統的建築法を応用し、自然の空調をコンピューターで計算したといます。その屋根をかけず、庭園的な方法によって木でつくったスタジアムという選択が、その後のコロナ対策になり、偶然が必然へと変身した旨を綴っていました。

このような事例からも、将来を見据えた考え、行動がまさに私達に求められているのではないのでしょうか？そのためにも、50年後、100年後に向けた『新たな一歩』にしていけたらと思います。そして志木ロータリーも未来に向けて行動していかなければなりません。

まずは、今年取り組みたい目標の一つでもあります会員増強です。今、大村委員長を中心に精力的にやっておられます。コロナ禍という大変難しい時期ではありますが、増強なくしてクラブの活性化はありません。どうかメンバー全員で考え、行動してくださいませよう、お願い申し上げます。

私も積極的に、推薦者がいれば一緒に伺うようにしたいと思いますので、声をかけてください。繰り返しになりますが、増強なくして志木ロータリーの未来はありませんので、宜しく申し上げます。

もう一つの取り組みは親睦です。先日宮田委員長に企画していただきました暑気払いも、地区からの要請もあり、残念ながら延期ということになりました。早く感染症が収まってくれることを祈るばかりです。

本日はクラブ協議会の第二弾としまして職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、SDGs委員会、青少年奉仕委員会、六委員会とSAA、研修リーダーに発表していただきます。よろしく申し上げます。

また、初めての「会員フリースピーチ」を「真面目」という言葉が最もあてはまります副会長の三上さんへお願いしております。引き続き、クラブの充実のために率先垂範でご協力をお願い申し上げます会長挨拶といたします。

## 「理事会報告」(8/10分) 会長 小林八郎

### 1) 9月以降の例会について

12月までは毎月第1、3水曜日 11:00～  
開催予定 会場：ベルセゾン

### 2) 宮原俊介会員の提案について

会員への情報発信について、今までのFAXにメールを加える。まずはどちらかを選んでいただき徐々にメールに切り替えていく

### 3) 本年度の助成金交付の件

本年度助成金交付の件は例年通り実施することとする。

川と街をきれいにする運動 ¥100,000

ボーイスカウト ¥80,000

志木市スポーツ少年団 ¥80,000

インターアクト ¥80,000

### 4) 事務局夏休みの件

事務局夏休みは8/11～8/17とする。

### 5) その他

①ソング・四つのテストの唱和はマスク着用で発声OKとする(音量小さめ)

②次年度ガバナー補佐の件

志木クラブの担当となりますので、11月末までに決めたい。

人選に当たっては、岩下会員、高橋会員に候補者選びを依頼することとする

③2022年11月20日に志木市民会館パルシティで開催予定の「こどもフェスタ2022 in 志木」への協賛の件

1口5,000円を3口協賛の予定。

チラシ・ポスターに団体名を掲載し、認知度向上に繋げる。

協賛金は社会奉仕委員会予算より充てる

## 「幹事報告」

幹事 吉原 正

### 1. 村田ガバナーより公式訪問の礼状受信

### 2. 地区事務所より国際ロータリー第2570

地区2022～23年度地区大会開催案内受信

開催日時：9月22日(木) 登録11:30

第1部 地区大会本会議 12:30～17:05

(地区内全クラブ会員)

### 第2部 RI会長代理を囲む晩餐会

17:40～18:50 ※クラブ会長・幹事、

地区役員、クラブ会員有志

参加費：1人20,000円

会場：帝国ホテル孔雀の間

### 3. 2570パスポートRCよりオープン例会案内

日時：8月25日(木) 19:00～20:30

オンライン Zoom

### 4. 志木市青少年育成市民会議より夏の非行・

薬物乱用防止キャンペーン参加御礼受信

## 「『ロータリーの友』記事紹介」

雑誌委員会 委員長 金剛光裕

### 『ロータリーの友』8月号記事紹介

#### 【横組】

**P5～** RI会長メッセージは会員拡大に関することです。

「全ては招請することから始まる」ということで、まずは例会を本音で話し合えるオープンな場にし会員に居心地のいい場所にし



なければなりません。「多様性、公平さ、インクルージョン (DEI)」を踏まえて次の一歩を踏み出し会員増強に取り組んでください、とのことです。(ここで聞きなれない言葉が出てきました。インクルージョンとは包括・包含という意味です。包括は全体をまとめること、包含は包み込む・中に含むことを指しています。)

**P8~13** 盛んに女性会員を増やせと書いてあります。私見ですが、女性女性と言わなくても、自然と活躍している女性は目に留まるでしょうし、ネガティブなことばかり書いてあって、これではかえって女性会員の入会を困難にしているような記事です。夫の代理出席や子連れでの例会参加等、意味不明な事が書いてあります。

**P18** ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識が掲載されています。外国人留学生に対する支援が中心です。当初の目的は、海外、特にアジア諸国から優秀な学生を奨学支援した「米山基金」が始まりで、その後在日留学生への支援に変わったそうです。

**P42** 編集部のとあと (あ) がき  
「女性はわきまえている」という発言の一部を切り取り悪意をもってハッシュタグ「#わきまえない女」の SNS 発信についてから始まる、「女性会員についてのアンケート」であることが分かりました。ロータリーの友の編集部の方でしたら、このような意図的な切り取りに喜ぶのではなく、きちんと全体の文脈を捉え事実関係を調べて記事にすべきです。貴重な紙面を台無しにした意識はこの編集部にあるのですかね。一番不愉快な記事でした。最後の「わきまえずに申し訳ありません。」の一文も最悪です。揶揄したつもりでしょうけど、本人の品性が見えてしまいました。

**【縦組】**

**P4** いすみ鉄道というローカル線の社長であった鳥塚 亮(あきら)さんのお話です。地域の方々と一緒になって掃除や維持管理をし、地元の中学生や高校生に積極的に関わってもらっているそうです。積極的にテレビ等に取り上げてもらい人気となりました。様々なチャレンジ、企画をして、「良さが分かるほんの一握りの人だけ、来ていただければ結構です。」とのこと。

**「ショートスピーチ」**

**「『野球殿堂博物館』について」**

副会長 三上隆俊



ショートスピーチでテーマはフリーということで、小林会長よりトップバッターのご指名をいただきました、少々のお付き合いをお願い致します。

日頃から小林会長より「クソ真面目で、硬い話は、周りが疲れるから気を付ける様に！」と注意をされていまして、間違っても問題提起ではなく、ほとんど記憶に残らない、サーっと聞き流せる内容の話を心掛けますので安心してお聞き下さればと思います。

先月の中旬に、東京ドームへ巨人戦を観に行ってきました。観戦に合わせて、何年も前からいつかは入ってみたいと思っていて、7~8年前に身近な方のお父様が特別表彰されたこともあって、ズーっと気になっていた、東京ドーム内にある「野球殿堂博物館」を見学してまいりました。

その「野球殿堂博物館」の話をさせていただきます。

因みに「野球殿堂博物館」を見学されたことのある方はいらっしゃいますか？

はい、有難うございます。

時折、ニュースで、日本の野球の発展に大



大きく貢献された方々を称え、これくらいの大  
きさ(ヨコ50センチくらい×タテ60センチ  
くらい)のブロンズ製胸像額(肖像レリーフ)を  
作成して、殿堂入り表彰式の報道を目にされ  
た方もいらっしゃるかと思います。

それら200を超える肖像レリーフが展示さ  
れていたり、野球の歴史や、少年野球から高  
校・大学・社会人・女子野球に至るアマチュ  
ア野球の紹介であったり、現在の日本のプロ  
野球に関する展示、往年の名選手のユニフォ  
ーム・バット・グローブ、記録達成時のボー  
ル、ワールドベースボールクラシックやオリ  
ンピックなど世界大会関係のトロフィーなど、  
野球好きの方にとってはたまらない、数多く  
の物を納めているのが「野球殿堂博物館」で  
あります。

また、プチ情報として、「野球殿堂博物館」  
の受け売りの知識なのですが、今年2022年  
は、野球伝来150年の節目だそうです。

1872年(明治5年)に、外国人教師のメリ  
カ人、ホーレス・ウィルソンという人物によ  
って日本に伝えられたそうです。

ウィルソンは、第一大学区第一番中学で英  
語や数学を教えるかたわら、生徒に野球を教  
えたそうで、翌年、学校名が、開成学校(現在  
の東京大学)となり、それを機に、立派な運動  
場(専用野球場ではない)ができて、攻守に分  
かれて試合ができるようになり、これが、日  
本の野球のはじまりと言われているそうです。  
そののち、開成学校の予科だった東京英語学  
校、その他の学校へと伝わり、そこで野球を  
体験した人達を中心となって野球は日本全国  
へと広まっていったそうです。

その日は、試合開始時間前の一時間位の予  
定で、見学を始めたのですが、上野の博物館、  
美術館のような広さは無いですが、コンパ  
クトに各カテゴリーに分けられて展示されて  
いて、予想以上の見応えで、あっという間に  
予定の時間は経過してしまいました。野球好き  
の方でしたら半日居ても飽きないほどの内容  
で、家内と娘と見学したのですが、さほど野  
球に興味が無い人でも、写真や実際に使用  
していた展示物が多くあり、見学し易く、老  
若男女を問わず一見の価値が有ると感じまし  
た。

普段、当たり前のように存在する野球です  
が、機会があれば「野球殿堂博物館」を一度  
見学されてはいかがでしょうか！

話のタネだったり、或いは、ノスタルジー

に浸り、野球がより身近に感じることができ  
るかもしれません。

取り留め無い話となってしまいましたが、  
これで終わらせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

### 「クラブ協議会」

議長:小林八郎会長

### 【職業奉仕委員会】

委員長 末富啓道



昨年度に引き続  
き職業奉仕委員  
会の委員長を務  
めず末富です。

昨年度はコロナ  
禍により殆ど活  
動できなかった

ため、今年度も  
同じ計画で活動  
したいと思ってい  
ます。コロナの第  
7波ということで  
先が見通せない  
状況ではありますが、委員の方と協  
力して、職場訪  
問、職業奉仕に  
関する卓話の開  
催を是非実現し  
たいと思います。  
宜しくお願いし  
ます。

### 【社会奉仕委員会】

委員長 遠藤貴博



今年度の社会奉  
仕委員会の基本  
方針としまして、  
地域社会に必要  
とされ望まれる  
活動を行う事で、  
生活のしやすい  
環境と発展に寄  
与しつつ、未来  
へと繋げられる  
一歩にしたいと  
考えております。

事業計画につ  
きましては、例  
年行われている  
川と街をきれい  
にする運動、コ  
ミュニティ協  
議会、社会福祉  
協議会、いろは  
子供文化賞、観  
光協会、ロータ  
リーの森の清掃  
、ハタザクラ、  
地下道壁画の維  
持管理、として  
おります。また  
例年行われてお  
ります、みつば  
すみれ学園夏祭  
りは外部からの  
参加協力はお断  
りとの事でした  
ので、今年も見  
送りとさせて頂  
きました。そし  
て今年度の課題  
と致しまして献  
血活動の再開と  
、変わり行く時  
代に見合った社  
会奉仕活動の模  
索を委員会とし  
て全力で行って  
参ります。どう  
ぞ一年間宜しく  
お願い致します。

### 【国際奉仕委員会】

委員長 西川和人

基本方針にも書  
かせていただき  
ましたが、ジェ  
ニファー・ジョ  
ーンズ RI 会長  
が会員向のメッ  
ッセージに「ロー  
タリーでは多様  
性、公平さ、イ  
ンクルージョン  
を重視していま  
す。



各個人がどのような人で誰を大切に思っているか、信仰や障害の有無、文化や出身国の違いといったことは重要ではありません。

重要なのは、地域社会とのつながりを強め、持続的な変化を生み出すために行動しようとする事です。」とあります。さらに、ロータリーではこの DEI (ダイバーシティ (多様性)、エクイティ (公平さ)、インクルージョン (包括性)) は単なる推奨される行動指針ではなく、将来にわたり、有意義なリーダーシップ、ネットワークづくり、奉仕活動の機会を実現するために必要な指針であると示しています。

このことは、今年度小林会長が掲げるテーマ新たな一歩にもつながることです。クラブの将来を見据え、地域の他団体とのつながりを高めて知り合いを広めることにより奉仕の機会とすることをポイントとして、今年度国際奉仕委員会として DEI について会員の理解を深め、皆さんが活躍できる環境を作ります。

事業計画として

1. 会員相互理解を促進する事業として「DEI」の理解を深める研修
2. RI の事業への理解を深め、地区事業への協力
3. 国際支援活動への協力
4. RI 財団との情報交換・連携
5. ロータリー米山記念奨学会への協力を掲げ、会員相互理解、リーダーシップを高め、地域社会をより良い方向に変える力を高めて参ります。

1年間よろしくお願ひ申し上げます。

【SDGs 特別委員会】

委員長 岩下正基



基本方針  
持続可能な開発目標 (SDGs) の達成・実現に向け研修・行動すること  
事業計画

- ・ SDGs に関する研修・セミナーの開催 (すでに取り組んでいる企業・団体・学校等の卓話)
- ・ 家族や地域社会に向け目標実現に必要なツ

ールの提供

- ・ 5 大奉仕委員会の SDGs への取組みの集約 (それぞれの委員会での事業は SDGs に関連しています。目標を提示させていただくのでそれに向けての取組みをお願いしたい)
- ・ 埼玉県 SDGs パートナー登録を目指す
- ・ こども食堂への支援を委員会内で検討中

【青少年奉仕委員会】

委員長 西浦建貴



基本方針には「青少年の健全な育成のための協力と支援」、並びにこうした活動への「ロータリアンの理解と共感」を掲

げています。このコロナ禍にあつて、我々の活動もなかなか思うように進められてはいませんが、子ども達の過ごす1年は大人の1年とは大きく違うことから、我々の活動・取組みに不連続を生じることとはできるだけ避けたいと考えます。

先日、2570 地区の合同セミナーに参加してまいりました。地区の委員会には「子ども家庭委員会」が設置され、地区内各クラブのこれまでの活動や、これからの取り組む予定の内容が紹介されました。これらの情報を参考にしながら、志木クラブにおける青少年奉仕委員会の活動を検討してまいりたいと思います。

【会場監督】

SAA 田中幸彦



厳粛な例会場作りに努め、その中において会員が心豊かな時間となるよう、明るく和やかな会場運営を目指します。

特にクラブテーマである将来に繋ぐ「新たな一歩」に向けた各委員会の活動に対して、又、会長が今年度特に重視する親睦活動等の会場、設営、例会作りに協力をしていきます。会場準備を早目に余裕をもって行い、感染拡大防止に努めながら、徐々に通常例会が行なえるようにしていきたいと考えます。

今後、新会員増強活動に伴い、新会員の SAA 配属によりリモート等 SAA 委員会の活動が充実できればと思います。

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

■和光 21 幸魂ロータリー衛星クラブ 第2第4(土) 13:00～ 和光市中央公民館 事務局 048-465-0088

【研修リーダー】

林 康雄

基本方針

「地域におけるロータリークラブの存在意義を考え、地域に根ざした奉仕活動を探る」



ロータリークラブの基本は「奉仕する人々の団体」であると考えます。志木市において無くてはならない、ロータリークラブが有るから志木市及び市民は有形無形の恩恵を受けていると思われるような奉仕活動を研修を通じて探っていきたいと考えます。

事業計画

1. 「志木ロータリークラブの新たな50周年に向けた奉仕活動を考える」

これは、基本方針を受けたテーマです。志木ロータリークラブの新たな代名詞と言えるような奉仕活動を模索するための研修をしたいと考えます。

1. 「一人一人が意見を出し合える小規模なグループでの研修を実施」

スクール形式の一方的な研修スタイルではなく、小グループに分けて各自が意見を出し合える形式の研修をしたいと考えます。

●出席報告 出席向上副委員長 武藤典夫

会員数41名 出席義務者38名 免除者3名

本日出席	本日欠席	本日出席率
36名	5名	90.00%

前々回 MU (4名中1名)	前々回修正出席率	平均出席率
	92.50%	93.31%